



市・有形文化財 美術工芸品（古文書）

まえ だ とし つね しよ じょう
前田利常書状 魚津市本町（照顕寺）

前田利常は、加賀藩の三代藩主で、改作法の実施などの政策により藩の農政を安定させ、百万石の基礎を築いた明君であった。慶長10（1605）年から寛永16（1639）年に至る34年の長きにわたって越登賀三国（加賀・能登・越中）を支配し、藩主の地位を譲ってから微妙院と号して重きをなした。

この文書は、青山佐渡守の菩提寺であった照顕寺の所蔵であり、三代目の魚津城代青山正次の次男青山逸角からの枝大豆献上に対する利常の礼状である。

文面は次のとおりである。

枝大豆一折到来満足之事候 謹言

肥前

六月十九日

利常（花押）

青山逸角江